

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ。

令和5年7月

浜田市が目指す将来像

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田

～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にすまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第2次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、各種施策に取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

- Ⅰ 活力のある産業を育て雇用をつくるまち
- Ⅱ 健康でいきいきと暮らせるまち
- Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち
- Ⅳ 自然環境を守り活かすまち
- Ⅴ 生活基盤が整った快適に暮らせるまち
- Ⅵ 安全で安心して暮らせるまち
- Ⅶ 協働による持続可能なまち

このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部総務課デジタル推進室】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
			項目なし	評価	総合評価	項目なし	評価	総合評価	項目なし	評価	総合評価			
1	自治体DXの推進	デジタル技術の活用による住民サービスの向上と業務効率化	実施した内容	項目なし			項目なし					計画		
				項目なし			項目なし							
				項目なし			項目なし							
							○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 令和4年度オンライン申請補助事業に対応したシステム改修 ①子育て関係15手続き ②介護関係11手続き ⇒改修完了予定(R5.3末) (2) びったりサービスの活用によるオンライン申請対応の検討と実施 ①消防(予防)業務オンライン申請 ②既存申請ページの見直し ⇒各所属において見直しを実施 (3) 次年度以降の補助対象となる申請に関するシステム改修準備 ⇒補助対象となる申請に関する情報が国から公表されていない。(R5.3月時点)	○		○		○		○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 申請受付、住民向けアンケート等のオンライン化 令和5年度から運用開始予定のオンライン化プラットフォームを活用し、申請受付、住民向けアンケート等のオンライン化を実現する。 (2) 各種サービスを活用したオンライン申請環境拡充と住民サービスの向上 びったりサービス、しまね電子申請、オンライン化プラットフォームの各種申請環境の連携、拡充により住民サービスの拡充を図る。 (3) オンライン化の周知 施政方針にある「いつでもどこでも行政手続き」のようなわかりやすい目標を定めて周知を図る。
							○手数料等のオンライン決済対応による住民サービスの向上 (1) 対象決済方法の検討 ①サービス提供者事業者へのヒアリング ②先行自治体へのヒアリング ⇒提供者事業者において、サービス提供が中断 (2) オンライン決済導入と内部調整 ①入金確認手続きに関する調整 ⇒完了 ②職員向け研修等の実施 ⇒来年度実施予定 (3) オンライン決済導入の周知 ①住民向け広報・PR ⇒来年度実施予定	○		△	△	×	○手数料等のオンライン決済対応による住民サービスの向上 (1) オンライン決済の導入 普及率の高い決済手段に対応したサービスの導入を実施する。 (2) オンライン決済導入への対応 担当職員向け研修を実施する。 (3) オンライン決済導入の周知 住民向け広報・PR	
							○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1) 自治体標準システム導入に向けた調査 ①標準システム機能の調査 ②浜田市独自機能の洗い出し ⇒概要調査実施。具体的な作業はR5年度開始予定 (2) 先行導入自治体の情報収集 ①導入前後の業務内容比較に関する情報収集 ②導入システム(企業)に関する情報収集 ⇒公開資料、国開催の説明会等から情報収集 近隣自治体等と情報交換を実施	○		○	○	○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1) 自治体標準システム導入に向けた事前準備 ①現行システムとの比較検証の実施 ②文字(外字)の整理 (2) 近隣自治体との情報交換と共同利用環境の調整 ①ビジネスチャットを活用した情報交換 ②全県WANを活用した標準システム用ネットワークの整備に関する県及び他自治体との調整		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部防災安全課、都市建設部建設整備課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
3	住民の防災意識の向上 災害に強いまちづくり	住民の防災意識の向上 地域防災力の向上	○ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海抜表示版及び津波避難誘導版の更新準備(設置現況を精査し、次期設置場所の検討を実施) (2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成及び周知 ・県による想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域の公表(6月) ・ハザードマップの作成・配付(3月) ・洪水及び土砂災害に関するケーブルテレビでの周知啓発(8月)	○	○	○ハザードマップの周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海抜表示版及び津波避難誘導版の更新準備(次期設置場所と表示内容の検討)⇒設置現況及び適切な次期設置箇所を精査した。また、ハザードマップと連動した津波危険度及び海抜表示を併記できるよう、表示内容を検討した。 (2)洪水・土砂災害ハザードマップの周知 ・広報はまだによる周知啓発(6月) ・洪水・土砂災害ハザードマップに関するケーブルテレビでの周知啓発(6月) ・出前講座による周知啓発(マイタイムラインの作成)⇒73回実施(目標70回) 広報はまだ、ケーブルテレビ、出前講座によりハザードマップの使い方を周知した。マイタイムラインの作成方法を周知し、市内の学校等においても、出前講座を行うなど、啓発に努めた。	○	○	様々な媒体を通して、ハザードマップを周知する	
			○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等)新たに6団体が組織化 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言 ⇒新型コロナウイルスの影響により、当初想定より進まなかった。	△	○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等)⇒新たに9団体が組織化したものの、コロナ禍により町内会の合意形成が進まず、目標未達 ・既設自主防災組織の強化(防災士養成支援) ⇒防災士と連携して訓練を実施するなど、既存組織強化に取り組んだ。 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言	△	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ⇒新たに9団体が組織化したが、組織率の数値目標は未達(77%目標に対し73.7%) (2)自主防災組織の活動強化 ⇒自主防災組織及び町内会等の防災意識向上を図るため、総合防災訓練、津波避難訓練、防災出前講座、外部講師による研修を実施 ・「親子で防災」等のイベントにより、従来よりも幅広い層が防災活動に参画 ・島根県の事業を活用し、9名の防災士を養成(津波避難訓練参加者 1,694人) (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ⇒地域防災力の向上を図るため、防災情報伝達訓練、避難行動訓練、状況等の報告訓練など住民参加型の防災訓練を実施(総合防災訓練参加者 7,049人)	△		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部定住関係人口推進課・産業経済部ふるさと寄附推進室・産業経済部農林振興課・教育部教育総務課・教育部文化スポーツ課・弥栄支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			項目なし	評価 総合評価	項目なし	評価 総合評価	項目なし	評価 総合評価	計画	評価 総合評価
4	地域おこし協力隊による若者の移住促進	地域おこし協力隊制度を活用し、若者を市外から受入れ、地域活性化に繋げる	実施した内容	実施した内容	実施した内容	実施した内容	計画	計画	計画	計画
										○地域おこし協力隊制度を活用した若者の移住促進 (1) 定住関係人口推進課 ①地域おこし協力隊サポート業務 ・募集準備(4月) ・1名募集(5月～) ・市内で活動している隊員の連絡調整、連携支援及び隊員の情報発信業務 ②ベルガロッソいわみの選手兼担い手 ・募集準備(4月～8月) ・3名募集(9月～) ・市内の働き手不足職場で働きながら、ベルガロッソいわみの選手として活動 (2) ふるさと寄附推進室 ①ふるさと寄附関係業務 ・募集準備、受付開始(4月) ・1名募集(5月～) ・ふるさと寄附のPR業務 (3) 農林振興課 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務 ・募集準備(4月・5月) ・1名募集(5月～) ・農用地保全、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 (4) 教育総務課 ①郷土資料等整理業務 ・2名募集(4月～) ・浜田市の郷土資料を整理し、データベース化などの業務 (5) 文化スポーツ課 ①体育協会運営業務 ・1名募集(4月～) ・体育協会において、スポーツ振興や、中学校部活動の地域移行に関する業務 (6) 弥栄支所産業建設課 ①弥栄地域特定地域づくり事業協同組合設立準備業務 ・1名募集(7月～) ・弥栄地域における担い手の確保に向けた「特定地域づくり事業協同組合」の設置・運営業務

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部定住関係人口推進課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
5	関係人口創出拡大	「関係人口」の力を地域に活かし、将来的な移住定住に繋げる	実施した内容	○「関係人口」と継続的に関わる仕組みづくり (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:70%】 情報発信件数:31件 総発信数:8,054人 開封数:5,897人 開封率:73% 登録会員数:275名(3月現在) (昨年度217名) ・成人式にて新規会員獲得(1月) ⇒成人式延期のため中止 ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) ⇒各学校と連携しチラシを配布(2月)	○	実施した内容	○「関係人口」と継続的に関わる仕組みづくり (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 情報発信件数:16件 総発信数:4,850人 開封数:3,381人 開封率:70% 登録会員数:454名(3月現在) (昨年度275名) ・成人式にて新規会員獲得(1月) ⇒令和3年成人式にて案内(56名増加) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) ⇒各学校と連携しチラシを配布(2月)	○	○関係人口との協働の推進 (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 情報発信件数:11件 総発信数:4,432人 開封数:2,769人 開封率:63% 登録会員数:555名(3月現在)増 ・二十歳の集いにて新規会員獲得(10月・1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月)	△	計画	○関係人口との協働の推進 (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 ・二十歳の集いにて新規会員獲得(1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月)	△
				(2) (仮称)浜田応援団の設立 ・浜田応援団設置要綱制定(7月) ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ⇒チラシを各市人会などに約2,000部配布(9月) ・役員募集(8月) ・役員決定・リスト化(9月)【目標:30名】 ⇒123名登録(3月現在)	○		(2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・役員決定・リスト化【目標:150名】 136名登録(3月現在) ※13名増加 ・オンラインカフェ 第1回 8名参加(6月4日) 第2回 8名参加(7月30日) 第3回 9名参加(3月25日) ・浜田応援団関東支部創設会(12月16日) 16名参加(現地:12名、オンライン:4名)	△	(2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・役員決定・リスト化【目標:130名】 151名登録(3月現在) ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 第4回 10名参加(5月24日) 第5回 14名参加(7月25日) 第6回 12名参加(9月23日) 第7回 7名参加(11月17日) 第8回 23名参加(1月31日) 第9回 10名参加(3月16日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・役員リストとのマッチング【目標:8事例】 18事例(3月現在)	○		(2) 浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・役員決定・リスト化【目標:170名】 ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・役員リストとのマッチング【目標:12事例】	○
				○地域課題とのマッチングの仕組みづくり (1) 組織体制の検討 ・市人会との連携 ・庁内組織(自治区、関係課)との連携	△		○地域課題とのマッチングの仕組みづくり (1) 組織体制の検討 ・市人会との連携 ・庁内組織(支所、関係課)との連携	△	(3) その他関係団体との連携等 ・市人会との連携 ・ひろしまはまだ会秋の例会(11月25日) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・市民向けセミナーの開催(6月) 96名参加(6月26日) ・スタディツアー実施(12月3日～4日) のべ7名参加	○		(3) その他関係団体との連携等 ・市人会との連携	○
				(2) 地域課題の整理 ・地域・企業課題(16件)の収集 (6～3月) ・役員リストとのマッチング(10事例) (9～3月)	△	(2) 地域課題の整理 ・地域・企業課題の収集【目標:20件】 6件(3月現在) ・役員リストとのマッチング【目標:8事例】 12事例(3月現在)	○						
				(3) 中間支援組織の導入による組織強化 ・関係人口創出・拡大のための中間支援モデル事業採択(7月) ・オンラインフィールドトライアル(1月) 21名参加(法政大学大学院生など)	○	(3) 中間支援組織の導入による組織強化 ・関係人口創出・拡大のための中間支援モデル事業 ※オンラインで実施 ①オンライン事前ワークショップ 3名参加(9月30日) ②オンラインツアー 7名参加(10月2日)	○						
						(4) 市民向けセミナー(3月⇒次年度に延期)	×						

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
6	移住定住情報サイト作成	移住検討者向けのQ&A等を作成し、移住の促進を図る	実施した内容	項目なし	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○移住定住情報サイトの作成 (1)情報サイト作成に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集、市HPの構成検討(4~5月) ・移住者インタビューや座談会等の開催、市HP掲載や冊子作成(5月~9月) ・プロポーザル実施、契約(5~8月) ・掲載作業(9~1月) ・移住定住情報サイト公開(令和4年2月1日) 	○	実施した内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> サイト運用 </div>	計画

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
7	定住推進の取組	「はまだぐらし」を活用した移住定住希望者の受入サポートの仕組みづくり	実施した内容	項目なし	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○移住・定住希望者の受入サポートの仕組みづくり (1)移住者インタビュー及びQ&A等の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集、インタビュー者等選定(4~5月) ・インタビュー、記事作成、サイト掲載(通年) (2)定住サポーターの制度づくり <ul style="list-style-type: none"> ・定住サポーター制度の検討(4~6月) ・要綱等作成、サイト改修等(7~10月) ・運用開始(11月) はまだぐらしサポーター13名(3月31日現在) 	○ ○ ○	実施した内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 移住・定住希望者の受入サポート実施 </div>	計画

8	浜田市まちなか交流プラザの整備及び運営について	浜田市まちなか交流プラザを、交流拠点として活用する	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設整備 7月のオープンに向け諸手続きを行う。 ○施設活用 大学生などの若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の交流の場として活用する。 	計画
---	-------------------------	---------------------------	--------	------	--------	------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部 地域活動支援課・まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
11	協働のまちづくりの評価・検証	協働のまちづくりの推進	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○協働のまちづくりの評価・検証 <ul style="list-style-type: none"> (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 <ul style="list-style-type: none"> ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理・計画取組項目の実績とりまとめ ②意識調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市民等意識調査の実施 ・職員意識調査の実施 (2)まちづくりセンターの評価・検証 <ul style="list-style-type: none"> ①まちづくりセンター利用者及び市民アンケート調査の実施(6～7月予定) ②まちづくりセンターへのヒアリング・視察の実施(視察:8月予定) ③評価検証結果報告書(令和6年度)の作成及び報告に向けた準備

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
12	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター整備について	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備(令和7年度中の供用開始)	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設整備計画検討 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント実施(～4月) ・地元等協議(～6月) ・議会方針説明(6月) (2)施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度6月補正予算案上程(6月) ・用地取得及び補償協議(7月～) ・実施設計業務委託(7月～)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部子ども・子育て支援課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
14	子どもを安心して産み育てる環境の充実	子育て世代包括支援センターの整備(令和4年度供用開始)	○子育て世代包括支援センターの整備 (1)子育て世代包括支援センターの実施設計 ・委託契約締結(5月) ・実施設計(～3月)	○	○子育て世代包括支援センターの整備 (1)子育て世代包括支援センターの整備 ・入札(6月) ・契約締結(6月) ・建築工事(～3月)	○	施設運営					
		放課後児童クラブ民間委託の検討(全20か所のうち直営の14か所の民間委託)	○放課後児童クラブの運営の民間委託(1か所程度)の実施 (1)放課後児童クラブの民間委託(1か所程度)の実施 ・条例改正等提案(6月) ・保護者への説明(7月) ・民間委託開始(10月) (2)他の放課後児童クラブの運営方針を検討し、方針決定 ・民間委託した放課後児童クラブの運営状況を確認しながら、他の放課後児童クラブの方針を決定 ⇒詳細な時期については今後協議予定	○ △	○放課後児童クラブの運営の民間委託(2か所程度)の検討 (1)放課後児童クラブの民間委託(2か所程度)の検討 ・民間委託実績のある事業者等から、情報収集を実施 ⇒令和3年8月～10月に公募を行い、令和4年度から2か所で民間委託を実施	○	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託の検討 ・市内の保育所等に対し、運営の意思確認等を行う。 ⇒令和4年11月に市内で保育所等の運営を行っている社会福祉法人へ意向調査を実施し、2法人に受託の意向があることを確認することができた。	△	計画			
		病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備(令和3年度供用開始)	○病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 (1)病児・病後児保育室、休日応急診療所の実施設計 ・議会への方針説明(5月) ・補正予算上程(6月) ・委託契約締結(8月) ・実施設計(～3月)	○	○病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備及び事業開始 (1)病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 ・入札(6月) ・契約締結(6月) ・建築工事(～12月) ・病児・病後児保育実施(1月～)	○	施設運営					
		出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業の実施(令和3年度実施)	項目なし		○出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業の実施 ・事業内容の協議、検討(～3月) ・事業の実施(10月～) ⇒事業内容を変更し、令和4年度から事業実施	△	事業実施					
		父親の育児参加を促進する取組の実施	項目なし		項目なし		計画					

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部商工労働課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
16	BUY浜田運動	BUY浜田運動の浸透及び定着	実施した内容	△	△	実施した内容	△	実施した内容	△	計画
			<p>○BUY浜田運動の実施</p> <p>(1)運動継続の仕組みづくり</p> <p>①推進委員会の開催(3月)</p> <p>②市民を対象とした認知度等アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月下旬(7店舗、213人) アンケート結果 「知っている」34.1% (前年度+5.0ポイント) 「聞いたことがある」18.7% (前年度△7.6ポイント) 「知らない」47.2% (前年度+2.6ポイント) <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街や地元商店との連携強化 ・宅配・テイクアウトリスト作成周知 ・市役所ロビー等での販売・PR支援(1~3月) <p>(2)BUY浜田屋市の開催</p> <p>①商店街等と連携した開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、春・秋中止 ・ゆうひパーク浜田イベントへの協力 <p>(3)運動グッズ等による啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田ダンス映像の活用依頼(2店舗で継続的に活用) <p>②BUY浜田運動テーマソング動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育所への活用依頼(4園が取組実施) ・公民館サークルへの活用依頼 <p>③小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と連携した取組 ・学校給食献立表にBUY浜田運動の紹介文を掲載(11月) <p>④広報はまだによる周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田運動の特集記事掲載(10月) 		<p>○BUY浜田運動の実施</p> <p>(1)運動継続の仕組みづくり</p> <p>①推進委員会の開催</p> <p>②市民を対象とした認知度等アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 11~12月(8店舗+WEB、744人) アンケート結果 「知っている」34.3% (前年度△1.8ポイント) 「聞いたことがある」29.6% (前年度10.9ポイント) 「知らない」38.1% (前年度△9.1ポイント) <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売店との更なる連携強化 ・キヌヤ長澤店、ゆめマート浜田での店頭周知 ・ゆめタウン浜田店でのフェア協力 5月・6月・11月・1月に幟旗・ポスター掲示 <p>(2)BUY浜田屋市の開催</p> <p>①商店街等と連携した開催</p> <p>②お魚市場グランドオープン時の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お魚市場グランドオープン 7/22~23 ・石央物流団地30周年記念イベント <p>11/20</p> <p>(3)運動グッズ等による啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田ダンス映像の活用依頼 ・ミニ幟旗、プライスカードへのロゴマーク掲載依頼 <p>②生産者等へのシール活用の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAきんさい市場でのシール添付協力 ・加工・製造事業者へのロゴマーク活用依頼 <p>③BUY浜田運動テーマソング動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンス動画リニューアル(1~3月、27団体・人) <p>④小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と連携した取組(11月) ・学校給食献立表への掲載 ・給食時にテーマソングを放送 <p>⑤広報はまだによる周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田運動の特集記事掲載(11月) 		<p>○BUY浜田運動の推進</p> <p>(1)認知度の向上</p> <p>①BUY浜田屋市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各産業祭でのDVD放映 ・3/25・26ゆうひパーク浜田で開催(はまだお魚市場でも同時開催) <p>②認知度等アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱店舗ヒアリング(6~7月・10店舗) ・市民アンケート(1~2月) <p>実施概要:1~2月(8店舗+WEB、686人)</p> <p>アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知っている」28.3% (前年度△0.6ポイント) 「聞いたことがある」33.1% (前年度+5.9ポイント) 「知らない」38.6% (前年度△5.4%) <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまだお魚市場、ゆめタウン浜田店でのPR活動 ・石見ケーブルビジョンでの事業紹介 <p>(2)運動グッズ等による啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 <p>②テーマソング動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜っ子タイムズ(6月) ・小売店等の店頭での動画放映 ・産業祭での動画放映 <p>③幼保・小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保・・・ダンス活用(BB大鍋フェスティバル、旭ふるさとまつり、みすみフェスティバル) ・小中学校・・・地産地消学習(波佐小、旭小、浜田東中) <p>(3)電子地域通貨の導入検討</p> <p>①県立大学との共同研究の実施</p> <p>②中国経済産業局との勉強会の開催(1/23・24)</p>		<p>○BUY浜田運動の推進</p> <p>(1)認知度の向上</p> <p>①BUY浜田屋市の開催(2回程度開催予定)</p> <p>②認知度等アンケート調査(7~8月頃実施)</p> <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見ケーブルビジョンとの連携 ・広報はまだによる周知(年4回実施予定) BUY浜田運動の特集記事掲載(5月) <p>(2)運動グッズ等による啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 <p>②テーマソング動画の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 <p>③幼保・小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保・・・ダンス活用 ・小中学校・・・地産地消学習の実施 <p>(3)電子地域通貨の導入検討</p> <p>①ワーキング会議の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討メンバーの選定 ・先行事例の調査・研究 	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
17	事業承継・創業支援対策	事業承継の推進 ・事業承継相談カルテを200社作成(令和3年度までの累計) 実施した内容	○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 ・9社(3月末) ・コロナ支援対応によりカルテ作成が進まなかった △	△	○事業承継の推進 (1) 浜田事業承継サポート窓口 【目標】 事業承継相談カルテ50社作成 ・15社(12月末) ・長引くコロナ支援対応によりカルテ作成が進まなかった △	△	○事業承継の推進 (1) 事業承継推進策の検討 ① 事業承継推進会議の開催 ・年2回開催(9/20・3/16開催) ② 事業承継サポート窓口の活用 ③ 事業承継相談会の実施(随時) ・8/8個別相談会、1/27個別相談会(市が主催)を開催 ・会議所・商工会は個別相談会を毎月開催 ④ 事業承継セミナーの開催 ・11月22日開催(商工会議所主催) △	○	○事業承継の推進 (1) 事業承継推進策の検討 ① 事業承継推進会議の開催 ・年2回開催予定 ② 事業承継サポート窓口の活用 ③ 事業承継相談会の実施(随時) ④ 事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定(会議所が主催) △	○
			(2) 浜田市事業承継推進会議の開催(8月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ① 事業承継推進策の検討 ② 浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 ・相談カルテの有効活用が不十分だった △		(2) 浜田市事業承継推進会議の開催(9月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ① 事業承継推進策の検討 ② 浜田事業承継サポート窓口の進捗管理 ・承継支援スキーム推進会議で検討中 △		(2) 地域おこし協力隊制度の活用 ① 後継者マッチング支援事業 ・1名 活動中(R5年4月末任期満了) ・1名 4月1日着任予定 ② 料理人等人材育成支援事業 ・2名活動中 ○		(2) 地域おこし協力隊制度の活用 ① 後継者マッチング支援事業 ・1名 任期終了(4月末) ・1名活動 ② 料理人等人材育成支援事業 ・2名活動 ○	
		起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ① 女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(9月～10月)、参加者7名 ② シニア・若者向けセミナーの開催 ・6回コース(10月～12月)、参加者17名 ○	○	○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ① 女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8月～9月)、参加者14名 ② シニア・若者向けセミナーの開催 ・6回コース(10月～11月)、参加者16名 ○	○	○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ① 女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8/27、9/10、9/23、9/24) ・参加者11名 ② シニア・若者向けセミナーの開催 ・【基礎編】2回コース(10/15、10/22) ・【ビジネスプラン作成編】5回コース(11/5、11/12、11/19、11/26、12/3) ・参加者12名 ○	○	○起業・創業支援 (1) 起業セミナーの開催 ① 女性向けプチ創業セミナーの開催 ② 起業家育成セミナーの開催 ③ チャレンジショップの設置検討 ・商店街の状況調査実施予定(5月～6月) ④ 高校生・大学生向けイベントの実施 ○	○	
(2) 起業家のフォローアップ ① 起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施 ・参加者20名 ・過去の創業者へのフォローアップ 16事業者を訪問 ○	(2) 起業家のフォローアップ ① 起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施 ・参加者17名 ・機運醸成セミナー3回実施、参加者21名 ○	(2) 起業家のフォローアップ ① 起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者と委託契約を締結 ② 起業準備書の振り起こし ・3/4～5起業準備セミナーの開催 ○		(2) 起業家のフォローアップ ① 起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者に委託する予定で検討(5月～6月) ② 起業準備書の振り起こし ○						

起業・創業者数33件

起業・創業者数18件

起業・創業者数19件

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
18	道の駅ゆうひパーク浜田	民間活力を活用したR8年4月リニューアルオープン	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○リニューアル基本方針の策定 <ul style="list-style-type: none"> (1)方針作成 (2)方針の議会報告 ○事業者選定支援等アドバイザー業務委託の実施 (R6年10月～R7年3月の複数年で実施) <ul style="list-style-type: none"> (1)市民・利用者ニーズ調査 (2)サウンディング型市場調査 (3)ゆうひ公園の一体的活用における協議・調整 (4)事業スケジュールの構築 (5)公募書類一式の検討及び作成 ○国交省との協議・調整 <ul style="list-style-type: none"> (1)浄化槽の修繕 (2)土地の無償譲渡

【産業経済部産業振興課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
19	事業者ヒアリングの結果を受けた対策(商品開発、販路開拓の支援など)	販路拡大へ向けた商材開発・販路チャンネルの拡大	実施した内容	項目なし	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発・商品改良 <ul style="list-style-type: none"> (1)事業者参加ビジネス交流会「オール浜田企画部」においてテーマ設定し開催 <ul style="list-style-type: none"> ・実践を踏まえた講師を迎え、セミナーを開催 ・パッケージデザイン改良、既存商品のブラッシュアップ等 ⇒「販路拡大のための商品改良・開発プログラム」(7月～1月、全4回)実施予定 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 7月13日・14日実施 第2回 9月13日実施 第3回 11月10日、17日実施 第4回 1月16日実施 ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> (1)バイヤー招聘・商談会 <ul style="list-style-type: none"> 4月 関東1社 7月 関東1社、関西1社 8月 関東1社 9月 関東2社 1月 関東4社、広島1社、県内3社 3月 四国1社 (2)WEB商談会 <ul style="list-style-type: none"> 都内飲食店オーナーへのマッチング企業と協働企画 ⇒10月20日実施 (3)ネット販路の拡大 (ECポータルサイトの紹介) (4)フェア・見本市等出展支援 <ul style="list-style-type: none"> ビジネスフェア中四国2023出展補助7社 (5)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 ⇒「2022」表示対応済み ・令和4年度 販路拡大支援による取引実績 172,301千円(前年比23,380千円増) 	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発・商品改良 <ul style="list-style-type: none"> (1)食品製造事業者を対象に、商品のブラッシュアップや情報発信・販売促進の方法について再検討してもらう場面を提供する。 ・セミナー開催 ・商品開発サポート ・販路拡大支援 ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> (1)バイヤー招聘・商談会 (WEB商談含む) (2)ネット販路の拡大(ECポータルサイトの紹介) (3)フェア・見本市等出展支援 (4)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部農林振興課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
	集落営農の推進と担い手確保	<p>○農地集積と担い手対策</p> <p>(1)集落営農の法人化(目標3組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化:1組織 ・連携協議会の設立:1地区 ・広域連携への取組:5地区 <p>(2)認定農業者育成(目標3経営体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規:1経営体 ・検討中:2経営体 ・新規認定就農者:1経営体 ・育成研修会の実施 <p>(3)農業研修生の確保(目標3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名決定 	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業所得の向上	<p>○振興作物の生産拡大</p> <p>(1)3果樹の育成支援</p> <p>①大粒ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リースハウス整備(1件:1,008㎡) ・加温2重被覆化(4件:1,208㎡) <p>②赤梨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培 <p>③西条柿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低木栽培の導入検討 <p>(2)組合せ作物の生産拡大</p> <p>①新規取組農家数の確保(目標10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数:12件 ・ナス:2件(1,300㎡) ・アスパラガス:2件(200㎡) ・インゲン:4件(1,600㎡) ・あずっこ:4件(700㎡) 	○	△	○	○	○	○	○	○
	集落営農の推進と担い手確保	<p>○農地集積と担い手対策</p> <p>(1)広域連携への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携協議会の設立(目標2地区) ⇒1地区設立(美川西農業連携協議会) ・広域連携への検討:2地区 ・地域間連携:1モデル ⇒センチビードグラスの吹き付け連携 ・農作業の省力化 ⇒井関農機及び鳥根根との連携協定 ・抑草ロボットの実証 <p>(2)認定農業者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定農業者:(目標3経営体) ⇒4経営体決定 ・認定農業者協議会設立:(目標:1地区) ⇒1地区検討中 ・研修会の開催:コロナにより中止 <p>(3)新規就農者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業研修生制度の検討 ・農業研修生:3名(目標2名) ・新規就農者:3名(目標3名) 	○	△	○	○	○	○	○	
	農業所得の向上	<p>○振興作物の生産拡大</p> <p>(1)振興作物の推進</p> <p>①大粒ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒産地ツアーの実施 <p>②赤梨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培への取組 <p>③西条柿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低木栽培への取組 <p>④有機野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培面積の拡大 ⇒ハウス面積の拡大(27.6a) ⇒露地有機野菜の実証圃決定 <p>(2)組み合わせ作物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者への推進 ・集落営農法人への推進 ⇒露地有機野菜への取り組み検討 ・申請件数:12件(13,800㎡) ・アスパラガス:2件(600㎡) ・大豆:2件(11,200㎡) ・なす:1件(500㎡) ・いんげん:3件(800㎡) ・あずっこ:4件(700㎡) 	△	△	△	△	△	△	△	
	集落営農の推進と担い手確保	<p>○農地集積と担い手対策</p> <p>(1)広域連携への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ①省力化の推進 ⇒アイガモロボの実証実施(1.5ha) ⇒アイガモロボ研修会開催(6月) ⇒ヤンマーとの露地野菜機械化構築 <p>②地域間連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒センチビードグラス実施(美川西、井野) <p>③水田園芸の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒有機人参の実証実施(ヤンマーとの連携) ⇒楽天農業等との連携協定の締結(12月) <p>(2)認定農業者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒R4新規認定:2経営体 <p>①経営安定化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒有機露地プロックリー栽培研修の実施 ⇒有機露地プロックリー栽培実証実施(40a) <p>②農地管理の最適化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒楽天農業参加候補地の選定(9ha) <p>(3)新規就農者の確保</p> <p>①農業研修生の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒R5年度研修生:1名 <p>②新規就農者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒有機の施設・露地の経営モデル検討 ⇒R4年度認定新規就農者:2名 	○	○	○	○	○	○	○	
	農業所得の向上	<p>○振興作物の推進</p> <p>(1)振興作物の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①楽天野菜 ・販路拡大 ⇒楽天農業物流実証実施 ⇒楽天農業加工場検討 ・有機露地野菜の推進 ⇒オーガニックビレッジ検討委員会の開催(4回) ⇒有機野菜先進地視察(11、2月) ⇒ヤマガタデザインアグリ研修会(2月) ⇒有機農業推進研修会の開催(3月) <p>②大粒ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒認定新規就農者:1名 <p>③赤梨</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒人・農地プラン作成(山ノ内) <p>④西条柿</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒人・農地プラン作成(東平原) <p>(2)組み合わせ作物</p> <p>①有機露地野菜の導入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒有機露地プロックリー栽培実証実施(40a)再掲 <p>②水田園芸の産地化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒玉ねぎ栽培実証実施:2件 ⇒キャベツ品種比較試験実施:1件 ⇒機械導入支援:1件 	○	○	○	○	○	○	○	
	集落営農の推進と担い手確保	<p>○農地集積と担い手対策</p> <p>(1)広域連携への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点地区の指定 <p>(2)認定農業者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①経営安定化の推進 ②農地管理の最適化の推進 <p>(3)新規就農者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農業研修生の確保 ・就農パッケージの検討(有機米、有機野菜) ②新規就農者の確保 	○	○	○	○	○	○	○	
	農業所得の向上	<p>○振興作物の推進</p> <p>(1)有機野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ①楽天農業とぐりんはーととの連携組織協議 ②有機米の生産拡大 ・生産者協議の実施 ・ヤマガタデザインとの販路協議 ③フードバリューチェーンの構築 ・企業連携の推進 ・加工業者との協議 ④オーガニックビレッジ構想の推進 ・消費者問題研究会での説明 <p>(2)他の振興作物</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大粒ぶどう ②赤梨 ③西条柿 	○	○	○	○	○	○	○	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

20	農林業の振興	実施した内容	<p>○大規模農業の推進</p> <p>(1)元谷団地の開発</p> <p>①県営事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファームボンド等整備 ・農業用水を一部水道水に変更し、収量改善 <p>②入植者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策事業支援等 ・補助事業の追加 ・県と協力した営農支援 	○	実施した内容	<p>○大規模農業の推進</p> <p>(1)元谷団地の開発</p> <p>①県営事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファームボンド等整備 ・入植者の支援 ・土壌改良実証実験、営農支援 <p>(2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄(安城・杵束)地区基盤整備調査業務 	○	実施した内容	<p>○大規模農業の推進</p> <p>(1)元谷団地の開発</p> <p>①県営事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南側農地造成地(1.2ha)公募 ・入植者の支援 ・土壌改良実証実験、営農支援 <p>(2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄(安城・杵束)地区基盤整備調査業務協定書締結 	○	計画	<p>○大規模農業の推進</p> <p>(1)元谷団地の開発</p> <p>①県営事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南側造成地約1.2haやさか共同農場へ貸付決定(4月) ・入植者の支援 <p>(2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄(安城・杵束)地区基盤整備地元説明会開催
			<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <p>①水稲被害軽減</p> <p>R元年度7,240千円⇒R2年度10,760千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ有害捕獲数の増加 ・R元年1,052頭⇒R2年1,628頭(～R2.10) <p>②忌避剤の効果検証</p> <p>イノシシ忌避剤20リットルを被害農家へ配布</p> <p>③防護柵の効果的な設置方法の普及</p> <p>11集落で23,450mの柵を設置</p>	△		<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)イノシシ被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害軽減 ・先進事例の導入(美郷バレー等) ⇒金城町及び弥栄町において美郷町考案の防護柵を試験運用 <p>(2)集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落における被害防止体制の構築 ⇒新たに鳥獣被害防止モデル集落として14集落認定(浜田1、金城10、旭2、弥栄1) ・里山環境整備の実施 ⇒1集落実施(累計2集落実施) 	○		<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)有害鳥獣被害対策</p> <p>①農作物被害軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域防護柵設置 ワイヤーメッシュ:15,040m 電気牧柵:2,666m ・クマ捕獲事務の見直し(通年許可等) <p>(2)集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落における被害防止体制の構築 地域別モデル集落認定数(19集落) 浜田1、金城13、旭2、弥栄2、三隅1 	○		<p>○効果的な鳥獣被害対策の検討</p> <p>(1)有害鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域防護柵設置(農作物被害軽減) <p>(2)集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落における被害防止体制の構築 <p>(3)人材育成・担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟免許取得者の増
			<p>(2)シカ被害対策</p> <p>被害や目撃情報増加等がなかった</p> <p>捕獲数:R元年13頭⇒R2年10頭(～R2.10)</p>	○		<p>(3)クマ・シカ被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理体制の効率化 ・クマ出没時の防災防犯メール配信体制の改善 ・鳥獣被害対策実施隊員の増員(9名増予定) 	○		<p>(3)人材育成・担い手確保</p> <p>①狩猟免許取得者の増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度28人が新たに免許を取得 <p>②捕獲体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊員の増員(30名⇒39名) 	○		
<p>○森林団地化と施業経営の集約化</p> <p>(1)森林の境界明確化</p> <p>①長見町、三階町で140haの境界確定完了</p>	○	<p>○森林団地化と施業経営の集約化</p> <p>(1)森林の境界明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工林の境界測量 ⇒吉地町・治和町10ha、三隅町井野25ha 	○	<p>○素材生産量の増加</p> <p>(1)経済林の有効活用</p> <p>①新たな森林管理システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営管理権を取得した森林について、木材搬出用の作業道を整備 ・架線集材による搬出支援を実施(2件2,211m) 	○	<p>○素材生産量の増加</p> <p>(1)経済林の有効活用</p> <p>(2)市産木材の有効活用と普及促進</p> <p>(3)木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①木育指導者の確保 ②木育の普及促進 						
<p>(2)豊かな森づくり事業の推進</p> <p>①人材育成・担い手確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業従事者35名が安全講習受講 <p>②市産木材利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅33件 <p>③森林環境教育普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察指導員(2名) <p>④市産材の品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1事業体で製材JASの更新、木工職人育成により品質向上に努めた。 <p>⑤林内路網整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体で3,000mの路網整備 <p>⑥製材工場施設機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材加工機の移設設置工事 	○	<p>(2)豊かな森づくり事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな森づくり推進協議会総会(7/9) ・豊かな森づくり推進協議会委員会(11/12) 	○	<p>(2)市産木材の有効活用と普及促進</p> <p>①市産建築材の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市産材を使用した住宅建築普及促進 対象21件 123.97㎡使用 <ul style="list-style-type: none"> ・市産檜材ベンチ38基、テーブル10基制作(設置場所) かなぎウエスタンライディングパーク 堂床山山頂休憩所 あさひ荘 三隅中央公園陸上競技場 <p>②市産広葉樹ブランドの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭中学校において市産広葉樹製下駄箱の制作設置及び音楽室床の改修を実施 ・市産木製品の普及促進 子育て包括支援センター用遊具制作 	○							
<p>(3)新たな森林管理システムの推進</p> <p>①人工林の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後野町5.72haの森林の経営管理を林業経営者に再委託し、2.4haを皆伐した。 ・旭町モデル候補2箇所の森林調査を実施 	○	<p>(3)新たな森林管理システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能森林の掘り起こし ・不在森林所有者の調査 	○	<p>(4)木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木育指導者の確保 ⇒木育指導者の認定(3名) ・木育の普及促進 ・木育イベント(8/8) ・市産材を活用した誕生祝い品討会(11/24) 	○	<p>(4)低コスト再造林の推進</p>						
<p>○森林団地化と施業経営の集約化</p> <p>(1)森林の境界明確化</p> <p>①長見町、三階町で140haの境界確定完了</p>	○	<p>(4)木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木育指導者の確保 ⇒木育指導者の認定(3名) ・木育の普及促進 ・木育イベント(8/8) ・市産材を活用した誕生祝い品討会(11/24) 	○	<p>(5)木材の有効活用と高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市産建築材の利用促進 ・市産広葉樹ブランドの展開 	○							

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

<p>○低コスト再造林の推進 (1)コンテナ苗の出荷拡大 R元年度16,180本⇒R2年度17,000本</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>(2)市有林の皆伐と再造林 ・弥栄町「笠松市民の森」において3ha/年の皆伐(モザイク林誘導伐)を検討し、事業地を確定した。県予算や林業事業者の都合により、令和4年度の植栽を決定。</p> <p>(3)早生樹の導入検討 ・皆伐の未実施により試験栽培ができなかった。</p> <p>×</p> <p>○</p> <p>(4)木材の有効活用と高付加価値化 ・各種事業を活用し、広葉樹の高付加価値化を広葉樹製品の利用拡大。 [製作例] ①受注家具:檜風呂、店舗什器他 ②小物類:フォトフレーム、カッティングボード`他</p>	○	<p>○低コスト再造林の推進 (1)コンテナ苗の出荷拡大 ・R3年度22,830本(目標20,000本)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>(2)市有林の皆伐と再造林 ・皆伐可能森林の調査と伐採計画</p> <p>(3)早生樹の導入 ・弥栄町小坂地内に早生樹「コウヨウザン」135本植栽し、試験栽培を開始。</p>	○	<p>(3)木育の推進 ①木育指導者の確保 ・木育指導者2名による木育イベントの実施 ②木育の普及促進 ・山村地域の木育推進事業の実施 対象中学校(金城、旭、弥栄、三隅)においてて森林学習・木工体験を実施(計8回延15時間) ・出生祝い品の贈呈 (市産材によるカスターネット、積み木)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>(4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 R4年度目標30,000本→実績32,022本 ・市有林の皆伐と再造林 弥栄町市有林の皆伐を令和5年度以降に延期 ・早生樹の導入促進 ユーカリアの実証実験試験地の確保</p>	○
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部水産振興課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
	水産物の販路拡大	<p>○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策</p> <p>(1)「山陰浜田港」PR活動(生産者・仲買との連携)</p> <p>①「四季のお魚」、「どんちっち三魚」、「沖獲れ一番」PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充【目標】34店舗⇒32店舗 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充【目標】150社⇒141社 ・魚料理普及協力店の拡充【目標】のどろ20店舗⇒21店舗 <p>アンコウ15店舗⇒14店舗</p> <p>②大消費地(築地・広島等)へのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大卸、仲卸への営業活動・意見交換会開催 <p>③魚食普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お魚料理教室開催(7回) ・Sea級グルメ全国大会in境港参加⇒新型コロナウイルスの影響のため令和3年度に延期 <p>(2)販路拡大活動</p> <p>①既存取引企業の取引量増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動の実施 <p>②新規開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山陰浜田港」PR、営業活動(スーパー、飲食店など) ・バイヤー招聘対応 <p>⇒新型コロナウイルスの影響により、十分な対応ができなかった</p>	○	○	<p>○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策</p> <p>(1)「山陰浜田港」PR活動(生産者・仲買との連携)</p> <p>①「四季のお魚」、「どんちっち三魚」、「沖獲れ一番」PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充【目標】35店舗⇒33店舗 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充【目標】150社⇒146社 ・魚料理普及協力店の拡充【目標】のどろ24店舗⇒21店舗 <p>アンコウ16店舗⇒14店舗</p> <p>②大消費地(築地・広島等)へのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大卸、仲卸への営業活動・意見交換会開催 <p>③魚食普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お魚料理教室開催(8回)⇒(開催6回/中止2回) ・Sea級グルメ全国大会in境港参加⇒中止 ・お魚検定開催⇒令和4年度に実施予定 ・小中学校ノドグロ給食実施支援(11月) <p>(2)販路拡大活動</p> <p>①既存取引企業の取引量増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動の実施 <p>②新規開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山陰浜田港」PR、営業活動(スーパー、飲食店など) ・バイヤー招聘対応 	○	○	<p>○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策</p> <p>(1)「山陰浜田港」PR活動</p> <p>①ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 148社 ・魚食普及協力店の拡充 <p>②消費地市場へのPR</p> <p>(2)魚食普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(2/18) ・Sea級グルメ全国大会in八幡浜参加(11/12~13) <p>⇒「山陰浜田港あんこう鍋」優秀賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんちっちノドグロ給食提供(2/14~3/3) 	○	○	<p>○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策</p> <p>(1)「山陰浜田港」PR活動</p> <p>①ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 ・魚食普及協力店の拡充 <p>②消費地市場へのPR</p> <p>(2)魚食普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催 ・Sea級グルメ全国大会in沼津参加 ・どんちっちノドグロ給食提供 	○	○

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

21	水産業の活性化	実施した内容	○高度衛生管理型荷さばき所整備 (1)計画に基づく事業実施 ①7号(まき網用)荷さばき所の整備 ・供用開始(8月) ②4号(沖底他用)荷さばき所の整備 ・既設4号機能を既設5号へ仮移転(9~10月) ・既設4号解体工事(10月~3月) ③維持管理費算定と負担割合協議	○	実施した内容	○高度衛生管理型荷さばき所整備 (1)計画に基づく事業実施 ①4号(沖底他用)荷さばき所の整備 ・建築工事発注(10月着手)	○	実施した内容	○高度衛生管理型荷さばき所の整備 (1)計画に基づく事業実施 ①4号荷さばき所の整備 ・建築工事(~3月) ・落成式典(3/18)	○	高度衛生管理型荷さばき所の運営 7号荷さばき所(令和2年8月~) 4号荷さばき所(令和5年4月~)	
			○山陰浜田港公設市場の整備 (1)計画に基づく事業実施 ・建設工事(~10月) ・仲買棟のみオープン(3月)	○		○山陰浜田港公設市場の整備 (1)計画に基づく事業実施 ・グランドオープン 7/22 (2)公設水産物仲買売場の解体 ・解体工事(12月着手)	○		○山陰浜田港公設市場の整備 (1)賑わいイベントの開催 ・山陰浜田港秋のわくわくマルシェ開催(10/23) ・春祭り開催(3/26)	○	○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 島根イタリー(5/21) 水高まつり(6/4)	
			○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ②渚の交番設置団体の建設・運営支援 ・建設工事(~6月) ・オープン(7月)	△		○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討	△		○瀬戸ヶ島埋立地の活用 (1)企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ・マルハニチロ訪問(10/20、1/19)	△	○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)企業との共同研究協定に基づく養殖事業の可能性の検討 ・海面測量調査等の実施(4月~7月) ・調査結果に基づく研究(8月~)	
	水揚の維持・増大	実施した内容	○地元漁船の維持・存続 (1)地元漁船の存続対策 ①漁業経営体の意向確認 ②新船建造に向けた支援策の検討 ⇒漁業経営体特別応援給付金交付(4/27~6/30) 浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト改革計画策定(3月)	○	実施した内容	○地元漁船の維持・存続 (1)新船建造支援 ・支援制度の構築 (2)担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 2名	○	実施した内容	○地元漁船の維持・存続 (1)新船建造支援 ・支援制度の構築 (2)担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 2名 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 自給給付金交付(認定新規漁業者)1名	○	○地元漁船の維持・存続 (1)新船建造支援 ・支援制度の構築 (2)担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 2名 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 自給給付金交付(認定新規漁業者)1名	○
			○地元外漁船の誘致 (1)外来船の誘致 ①JF・市議会と連携した誘致活動 ⇒浜田漁港水揚高確保緊急対策入港奨励金(7/6~)	○		○地元外漁船の誘致 (1)入港促進補助事業の実施 (2)JF・市議会と連携した誘致活動	○		○地元外漁船の誘致 (1)入港促進補助事業の実施 (2)JF・市議会と連携した誘致活動 大中型まき網漁業経営体訪問(7月、8月)	△	○地元外漁船の誘致 (1)入港促進補助事業の実施 (2)JF・市議会と連携した誘致活動 大中型まき網漁業経営体訪問(7月、8月)	△

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度											
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価										
22	石見神楽振興事業	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける東京での神楽上演(令和3年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演 <ul style="list-style-type: none"> (1)島根県が企画する公演での神楽上演 <ul style="list-style-type: none"> ・石見観光振興協議会の企画による上演 ・靖国神社(6月6日)東京社中 ・神楽坂毘沙門天(7月9日)東京社中 ・東郷神社(7月16日)いわみ福祉会 ・富岡八幡宮(8月10日～12日) ※浜田は12日を担当(調整中) ・ふるさと祭り東京2021(1月)大田 ・石見神楽文京公演(2月)益田・吉賀・津和野 	△		<ul style="list-style-type: none"> ○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演 <ul style="list-style-type: none"> (1)島根県が企画する公演での神楽上演 <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の日本遺産関連の補助金を活用して実施予定 			<ul style="list-style-type: none"> ○「石見神楽」日本遺産認定 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見観光振興協議会を実施主体とした ・地域活性化計画の実施 ○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(4～5月) ・選定委員会及び交付決定(6月) ⇒申請団体数:19件(内1件申請取下げ) 採択団体数:9団体 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○「石見神楽」日本遺産認定 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見観光振興協議会を実施主体とした ・地域活性化計画の実施 ○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(5月10日〆切) ・選定委員会及び交付決定(5月21日) ⇒13団体から申請受付、採択(9件) ○浜田市独自の企画による上演 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽国立劇場公演(令和4年7月31日開催) ⇒劇場手配予約申込済み(令和2年12月) ⇒3/26～27 リハーサル実施 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○関東・関西など県外での認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽国立劇場公演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:7月31日(日) 来場者数:約2,000人 (2)令和5年度以降の関東圏での上演検討 (3)大阪・関西万博に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・首長連合への参加 ・大阪での上演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:9月4日(日)昼夜2回公演 会場:ビルボードライブ大阪 来場者数:延べ約340人 (4)広島広域都市圏との連携 <ul style="list-style-type: none"> 神楽の日:9月23日～25日 会場:広島駅南口エールエール地下広場 来場者数:延べ約2,600人 ○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)浜田市と島根県立大学の共同研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・海外向け動画の研究 ・外国人向け石見神楽ワークショップ(7月31日)22名参加(9か国) ・浜田の夜神楽のYouTube配信(8月13日、9月24日、10月29日、11月26日) 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○関東・関西など県外での認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽富岡八幡宮上演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:8月13日(日) (2)大阪・関西万博に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・首長連合との連携 ・大阪での上演検討 (3)広島広域都市圏との連携 <ul style="list-style-type: none"> 神楽の日:12月2日(土)、3日(日) 会場:広島駅南口エールエール地下広場 ○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 <ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えたプロモーション活動 	○	
			<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に延期 	△	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルスの影響により中止したため、令和4年度実施に向け再調整。 		△	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 都内での公演は実施できなかったが、沖縄公演(12月18～19日)、秋田上演(3月18～19日)の実施。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 実行委員会において事業中 		○	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(5月11日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月29日)⇒採択7団体 		○				
	石見神楽の認知度向上	実施した内容	石見神楽の認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> ○「石見神楽」日本遺産認定 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見観光振興協議会を実施主体とした ・地域活性化計画の実施 ○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(4～5月) ・選定委員会及び交付決定(6月) ⇒申請団体数:19件(内1件申請取下げ) 採択団体数:9団体 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○「石見神楽」日本遺産認定 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見観光振興協議会を実施主体とした ・地域活性化計画の実施 ○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(5月10日〆切) ・選定委員会及び交付決定(5月21日) ⇒13団体から申請受付、採択(9件) ○浜田市独自の企画による上演 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽国立劇場公演(令和4年7月31日開催) ⇒劇場手配予約申込済み(令和2年12月) ⇒3/26～27 リハーサル実施 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○関東・関西など県外での認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽国立劇場公演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:7月31日(日) 来場者数:約2,000人 (2)令和5年度以降の関東圏での上演検討 (3)大阪・関西万博に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・首長連合への参加 ・大阪での上演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:9月4日(日)昼夜2回公演 会場:ビルボードライブ大阪 来場者数:延べ約340人 (4)広島広域都市圏との連携 <ul style="list-style-type: none"> 神楽の日:9月23日～25日 会場:広島駅南口エールエール地下広場 来場者数:延べ約2,600人 ○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)浜田市と島根県立大学の共同研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・海外向け動画の研究 ・外国人向け石見神楽ワークショップ(7月31日)22名参加(9か国) ・浜田の夜神楽のYouTube配信(8月13日、9月24日、10月29日、11月26日) 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○関東・関西など県外での認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> (1)石見神楽富岡八幡宮上演 <ul style="list-style-type: none"> 開催日:8月13日(日) (2)大阪・関西万博に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・首長連合との連携 ・大阪での上演検討 (3)広島広域都市圏との連携 <ul style="list-style-type: none"> 神楽の日:12月2日(土)、3日(日) 会場:広島駅南口エールエール地下広場 ○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 <ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えたプロモーション活動 	○						
				<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に延期 	△	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルスの影響により中止したため、令和4年度実施に向け再調整。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 都内での公演は実施できなかったが、沖縄公演(12月18～19日)、秋田上演(3月18～19日)の実施。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 実行委員会において事業中 	○	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(5月11日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月29日)⇒採択7団体 	○							

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価						
23	クルーズ船対策	浜田港に定期入港するクルーズ客船の増加	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画							
			<p>○コスタクルーズ客船寄港おもてなし ※コスタ・ネオロマンチカ(7月、8月に2回) ※クリスタル・エンデバー(9月)</p> <p>(1)乗客、クルーズへのおもてなし対応 ・専用ホームページによる寄港情報の発信 ・シャトルバスによる市内送迎 ・特産品等の販売 ・近隣ツアーの実施</p>	×	×	<p>○クルーズ船寄港おもてなし (1)乗客、クルーズへのおもてなし対応 ・クルーズ客船受入推進ワーキンググループでおもてなしの実施場所や内容を検討 ・7/25(日) 飛鳥Ⅱ入港予定 ⇒新型コロナウイルスの影響により寄港中止</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度のクルーズ客船の寄港は全て中止。今後については、クルーズ船の感染防止対策の実施状況やクルーズ船へのニーズを踏まえ、再検討。</p>	×	×	<p>○クルーズ客船誘致 (1)乗客、クルーズへのおもてなし対応 ・専用ホームページによる寄港情報の発信 ・シャトルバスによる市内送迎 ・特産品等の販売 ・近隣ツアーの実施</p>	△	△	<p>○クルーズ客船誘致 (1)船社へのセールスを実施 ・県と旅行会社等の関係機関と連携実施 オンライン商談会で、浜田漁港の概要及び市の観光素材を紹介(1月)</p> <p>(2)クルーズ客船のオプションツアーの商品提案</p>	△	△	<p>○クルーズ客船誘致 (1)船社へのセールスを実施 ・県と旅行会社等の関係機関と連携実施</p> <p>(2)クルーズ客船のオプションツアーの商品提案 ⇒寄港地立寄マップの作成</p>	×

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
24	交流人口増加のための個人来訪者向け施策の展開	外国人観光客の増加	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策 (1)日本遺産認定された石見神楽を外国人観光客に見てもらおうための仕組みづくり ・多言語音声ガイドシステム構築 多言語化された音声ガイドに誘導するQRコードを観光地の看板等に設置 (3月設置、令和3年4月稼働予定) 【市内27地点】 【対応言語:日本語、英語、中国語、韓国】</p> <p>⇒ インバウンド対策は、新型コロナウイルスの影響により、当面は休止。 国内向けのアフターコロナ対策に重点的に取り組んだ。</p>	△	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策 (1)浜田市と島根県立大学の共同研究事業 ・石見神楽の魅力を効果的に伝えるインバウンド動画の検証 ※インバウンド誘客については、新型コロナウイルスの状況を見て具体的な取組を検討 ⇒夜神楽定期公演の海外向けWebコンテンツ化。 県立大学と観光協会の連携調整</p> <p>令和3年度は、日本語ベースでのコンテンツづくりに注力した。今後、他言語に変換する作業に移行の予定</p>	△	<p>○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底</p>	○	<p>○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底</p>	○
		個人来訪者や合宿等の増加	項目なし	項目なし	<p>(2)経済産業省発インバウンド対策サイト「FIND47.jp」へ浜田市の写真を掲載 令和3年9月掲載(目標3件) ⇒3件掲載</p> <p>石見神楽振興事業の項目へ移行</p>	○	<p>○合宿等の増加 ・補助金要綱の見直しによる利便性向上 ・営業活動活動の強化 目標:3,400泊 実績:2,896泊(対前年+1,629泊)</p>	△	<p>○合宿等の増加 ・新規利用者の掘り起こし</p>	△

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【都市建設部建設企画課・建設整備課・維持管理課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
25	充実した都市基盤の整備	浜田駅周辺整備(令和6年度)	○	○	○	△	○	△	○	○
		周布橋整備(令和7年度)	項目なし		項目なし		○	○	項目なし	
		市役所周辺整備(令和9年度以降)	○	×	○	△	○	△	○	○
		公園整備基本方針の策定(令和5年3月)	項目なし		項目なし		△	○	○	○
		実施した内容		実施した内容		計画		計画		
		<ul style="list-style-type: none"> ○浜田駅周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)南北道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議 ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)(9月) ・JR施設工事着手(一部) <ul style="list-style-type: none"> ⇒JR施設工事着手については、新型コロナの影響により、JR施設の設計及び調整に遅れが生じたため、令和3年度に着手となった。 (2)賑わいゾーンの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・JA跡地利用(代替地等)登記完了(11月) (3)浜田駅前広場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議・調整 ・駅前広場整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 7月末完成を目指していたが、電柱や信号機の移設に期間を要したため、12月完成 		<ul style="list-style-type: none"> ○浜田駅周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)南北道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議 ・道路工事(継続) ・用地買収及び移転補償 ・JR施設工事着手 <ul style="list-style-type: none"> ⇒道路工事については、踏切北側はほぼ完成した。 また、JR施設工事については、予定工事費が増額となり、予算措置に期間を要したため、年度内の着工にならなかった。(3月契約) 		<ul style="list-style-type: none"> ○浜田駅周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)南北道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議 <ul style="list-style-type: none"> JR工事施工ヤード調整⇒調整完了 ・道路工事(継続) <ul style="list-style-type: none"> ⇒道路工事 令和5年3月契約完了 ・用地買収及び移転補償 <ul style="list-style-type: none"> ⇒用地買収 契約完了 ⇒移転補償 一部完了 ・JR施設工事着手 <ul style="list-style-type: none"> 9月資材搬入、工事開始 ⇒令和5年1月資材搬入、工事開始 		<ul style="list-style-type: none"> ○浜田駅周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)南北道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議 <ul style="list-style-type: none"> 踏切周辺の下水道計画との調整 ・道路工事(継続) <ul style="list-style-type: none"> ローソン前道路工事(10月完了) ・用地買収及び移転補償(継続) ・JR施設工事(継続) 		
		項目なし		項目なし		○	○	○	○	
		<ul style="list-style-type: none"> ○市役所周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関協議、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(未実施) ⇒11/1事務局会議を実施 ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催(未実施) 		<ul style="list-style-type: none"> ○市役所周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関協議、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(7~9月に開催予定) ⇒11/1事務局会議を実施 ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催(7月以降・継続協議) (R3.11.2)に第6回の会議を開催。 第7回はR4.4に開催予定 ⇒11/2第6回連絡会をWEBで開催(次回は4/26に開催予定) 		<ul style="list-style-type: none"> ○市役所周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関協議、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(4/21・2/5) ⇒事務局会議を実施 ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市)の開催 ⇒4/22、2/6 計2回実施 次回(5月下旬開催予定) 		<ul style="list-style-type: none"> ○市役所周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関協議、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(下記連絡会前後に開催予定) ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市)の開催 		
		項目なし		項目なし		△	○	○	○	
									基本方針に基づいた事業実施	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部工務課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
26	基幹管路の更新及び耐震化	基幹管路の更新及び耐震化	○	○	○	△	○	△	○	△
		実施した内容			実施した内容			実施した内容		計画
		<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ①管路更新工事情報の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表 ・8月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7、8月) ・約2.1kmの管路更新を実施 (2)更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(6月～) ⇒約2kmの管路更新を実施 6件の工事の内2件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった 			<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ①管路更新工事情報の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表 ⇒6月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7月) 6月…工事1件契約 7月…工事1件契約 8月…工事2件契約 ※工事2件の繰越し手続き中 ⇒約1kmの更新工事を実施 4件の工事の内2件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった 			<ul style="list-style-type: none"> ○基幹管路の更新及び耐震化 (1)更新計画に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ①管路更新工事情報の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表 ②更新及び耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(6月) 		

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
27	寒波による断水対策の実施	寒波による断水原因の調査及び断水を起こさないための対策実施									
		実施した内容			実施した内容			実施した内容		計画	
		項目なし			<ul style="list-style-type: none"> ○断水対策 (1)実態把握および検討 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルによる調査実施(～6月) ・調査報告(8月) ⇒コンサルによる実態調査を行い、その結果を金城地域で住民説明会を開催し報告を行った(10月) (2)施設増強対策 <ul style="list-style-type: none"> ・計画・設計(～6月) ・工事施工(6月～12月) ⇒今福中央配水池へ500m3タンクを増設し、12月に供用開始を行った (3)情報連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの充実(～8月) ⇒凍結災害マニュアルの作成(～11月) ・止水栓台帳の整備(～9月) ⇒金城地域の止水栓台帳作成(～10月) 			<ul style="list-style-type: none"> ○配水量調査及び送水能力の検討 (1)下ノ原配水系の配水流量調査 <ul style="list-style-type: none"> ・流量計BOX設置工事(～7月) ・流量把握調査(7月～3月) ⇒流量計BOXを設置(～7月) また、BOX設置のため流量把握調査を実施(～3月) (2)金城地区送水能力検討 <ul style="list-style-type: none"> ・検討業務(6月～3月) ⇒下ノ原配水池系及び今福中央配水池系への送水及び配水能力の検討業務を実施(～3月) 			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 寒波による断水対策の継続実施 </div>

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部下水道課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
28	市街地 下水道 整備	○第1期 工事区 域の工 事完了 (令和9 年度)	実施した内容	○処理場建設に向けた準備 (1)処理場建設候補地関係者協議 ①建物所有者との補償契約 (5月契約、11月補償完了) ②土地取得に向けた事前準備(河川法等) ・島根県と協議(6月)	実施した内容	○処理場建設に向けた準備 (1)処理場建設候補地関係者協議 ①処理場用地の取得(12月用地取得) ②基本設計に着手(1月契約)	実施した内容	○処理場建設工事に向けた準備 (1)公民連携手法の導入 ①導入可能性調査の実施 ・浜田水再生センター建設工事事業 説明会(12月) ・浜田市建設業協会との意見交換会(1月) ②基本設計の実施 ・建設用地の有効利用の検討	計画	○処理場建設工事に向けた準備 (1)公民連携手法の導入 ①R6年度工事着手に向け、発注方式を決定 し、事業者選定を行う
				(2)事業啓発 ①処理場建設候補地周辺住民を中心に、 処理施設の説明会・視察を開催 ・松原浦漁協説明会(7月、10月) ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性 についての啓発活動 ・広報はまだ(9月号) ・浜田商工会議所常議員会事業説明 (11月)		(2)事業啓発 ①処理場建設候補地周辺住民を中心に、 処理施設の説明会を開催 ・松原浦漁業組合説明会(7月) ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性 についての啓発活動 ・広報紙「はまだ下水道通信」配布(8月)		(2)事業啓発 ①処理場建設地周辺住民を中心 に処理施設の説明会を開催 ・国府浄化センターの見学会開催(8月) ②浜田処理区を中心に、汚水処理 の必要性についての啓発活動 ・広報紙「はまだ下水道通信」配布(9月)		(2)事業啓発 ①処理場建設地周辺住民を中心 に処理施設の説明会を開催 ・国府浄化センターの見学会開催(8月) ②浜田処理区を中心に、汚水処理 の必要性についての啓発活動 ・広報紙「はまだ下水道通信」配布(9月)
				○下水道整備事業着手 (1)事業認可、事業計画、設計業務 ・第一四半期に、下水道法の事業計画提 出及び都市計画法の事業認可を受け、 基本設計に着手 下水道法、都市計画法認可(4月) 基本設計業者決定(7月) 業務着手について区域内の各町内へ 回覧による周知(8月)		○下水道整備工事に向けた準備 (1)公民連携手法の導入 ①導入可能性調査に着手(9月) ・事業者説明会(11月、3月) (2)関係機関への事前協議 ・埋設物管理者協議(5月) ・国道管理者協議(10月)		○下水道整備工事に向けた準備 (1)公民連携手法の導入 ・管路整備DB公募開始(10月) ・プロポーザル方式選定審査会(2月) ・契約候補者との基本協定締結(3月) (2)関係機関への事前協議 ・国、県道協議(10月) ・JR協議(11月)		○下水道管路整備の実施 (1)公民連携手法の導入 ①管路整備DBの詳細設計に着手(5月～) ②設計完了箇所から順次工事着手 (2)関係機関との連絡調整 ①道路・地下埋設物管理者との設計調整 (5月～) ②他事業との設計・工事調整(5月～)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【金城支所産業建設課・市民福祉課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
29	農業振興	農業振興		○		△	○		△	○	
		実施した内容			実施した内容			実施した内容		計画	
		○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ①リースハウス事業を活用した大粒ぶどうの作付面積拡大 ・国事業を活用し(1件)、1,008平方メートル作付面積拡大			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した作付面積拡大 1件 1,000平方メートル → 計画の延期 金城地区 21戸 451a(うちリースハウス 145a) (2)その他農業振興 ・農福連携の検討 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策 ⇒集落ぐるみの有害鳥獣対策 検討会開催9件、モデル集落認定数10件			○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した作付面積拡大 ビオーネ離農者と作付者のマッチング 13a (2)その他農業振興 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策 集落ぐるみの有害鳥獣対策 楽天農業と地域との橋渡し 説明会開催 2回 楽天へ面積提示 810a→ 合意 760a			○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・楽天農業と地域との橋渡し (2)ビオーネの産地振興 (3)有害鳥獣対策

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
30	観光交流	美肌観光の推進		○		△	○		○	○	
		実施した内容			実施した内容			実施した内容		計画	
		○観光交流 (1)美又温泉国民保養センターの整備、検討 ・中核施設としての機能発揮 美又新ブランド「やちよ料理」開発 ・利用促進のための駐車場修繕 ・中規模修繕の検討 ・利用実績 ※4/18～5/31休館 入浴者数 32,786人 レストラン 6,532人 宿泊者数 500人 (2)観光誘客推進 ・「チームかなぎ」による情報共有、誘客企画 ・鳥根県と連携した美肌観光の推進 ・お肌に関する湯治の誘客検討 医学的見地からの調査実施 環境省「チーム新潟治加入」 ・おもてなし研修の実施 ・新型コロナウイルス対策等の取組			○観光交流 (1)美又温泉振興 ・保養センターR4-R8指定管理公募・決定 ⇒令和4年度は現在の指定管理者へ指定管理を委託。 ・医学的調査結果を活用した誘客(湯治など) ・美又新ブランド「やちよ料理」の推進 ・美又温泉会館の改修 ・美又温泉4号井タンク更新 ・温泉総選挙2021「うる肌部門」1位獲得 ・利用実績 ※1/22～2/20休館 入浴者数 35,865人 レストラン 6,281人 宿泊者数 407人 (2)その他観光振興 ・きんたの里R4-R8指定管理公募・決定 ・「チームかなぎ」による情報共有、誘客企画 ・鳥根県と連携した美肌観光の推進 ・ホースセラピーの推進と誘客 ・おもてなし研修の実施 ・新型コロナウイルス対策等の取組			○観光交流 (1)美肌観光の推進 ・美肌観光による誘客推進 ・美肌商品の開発推進 ・おもてなし研修の実施 ・プロポーザルにより委託業者を決定 (2)美又温泉振興 ・保養センターR5-R7指定管理公募・決定 利用実績 入浴者数 46,591人 レストラン 7,572人 宿泊者数 495人 ・新型コロナウイルス対策等 ・美肌県しまね推進事業を活用した取組(旅館組合) メニュー開発、旅行商品造成、PR活動 ・全国旅行支援への取組 ・温泉総選挙2022 「うる肌部門」第2位、環境大臣賞受賞 ・観光庁事業:地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業へ応募予定			○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・基本構想の策定 ・整備計画の立案 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・観光庁事業の導入 5月採択(6施設)うち金城5、旭1 ・美肌観光推進事業の推進 ・温泉総選挙2023の取組

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
31	公害対応	臭気の軽減		△		△			△		
		実施した内容			実施した内容			実施した内容		計画	
		○公害対応 (1)臭気対策の検討・方針決定 ・臭気対策(支援方針)の検討 ・支援内容の検討 ・専門機関からの情報収集(10月) ・自治会や観光施設へのヒアリング(10～12月) ・畜産臭気対策検討会議(11月) ・環境省補助金調査(1月) ・においセンサーによる調査(2～3月)			○公害対応 (1)臭気対策の検討・方針決定 ・臭気原因特定 ・臭気対策検討 ・支援方針・内容の検討 畜産事業者との協議(4～3月) 畜産臭気対策検討会議(随時) 市内事業者によるバイオマス発電設備の導入支援			○公害対応 (1)臭気低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電設備導入に係る事業者支援 市内事業者への県補助金にかかる情報提供及び申請支援(4～6月) 養豚事業者との面談及び現地調査の調整面談(6/3、8/18、2/1) 現地調査(2/17)			○公害対応 (1)臭気低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握(随時) 市内事業者と養豚事業者との連絡調整(随時)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
32	農業の振興	農地の保全	△	○	○	○	△	△	○	△		
		山ノ内梨園再生	△	○	△	△	○	○	○	○		
実施した内容			<p>○農地の保全</p> <p>(1)自治区内保全農地の明確化</p> <p>①農地保全プラン(単独)の完成(9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランを基とした対策の検討 ・アンケート内容集計(9月) ・人・農地プランの実質化に併せて協議(3月) <p>②実質化した人・農地プラン(国)の作成(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1筆データおよび地図完成(10月) ・人・農地プラン実質化に向けた協議(3月) <p>(2)中山間直払制度第5期対策に向けた支援</p> <p>①広域集落協定の設立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのコーディネート ・協力団体(まちづくり)との調整(4~7月) ⇒木田広域及び和田広域協定認定(8月) <p>②ソフトウェアを活用した会計事務支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落農業支援システム運用開始(1月) 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)地域内農地保全の持続化</p> <p>①地区単位での継続協議支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地利用状況の協議のため、集落への基盤整備事業調査結果のフィードバックを実施(3月) <p>②地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(耐久性畦畔・畦畔除草省力化・耕作道舗装等) ・耕作道舗装実施農地の利用状況調査(11月) <p>③農地管理マスターデータの整理</p>		<p>○農地の保全</p> <p>(1)地域内農地保全の持続化</p> <p>①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性畦畔・畦畔除草省力化等実施農地の利用状況調査 →耐久性畦畔実施農地のリストアップ ⇒現地調査実施中 ⇒調査結果の取りまとめ(3月) <p>②地区単位での継続協議支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査のフィードバック 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)地域内農地保全の持続化</p> <p>①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性畦畔・畦畔除草省力化等実施農地の利用状況調査 →耐久性畦畔実施農地のリストアップ ⇒現地調査実施中 ⇒調査結果の取りまとめ(3月) <p>②地区単位での継続協議支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査のフィードバック 		<p>○農地の保全</p> <p>(1)地域内農地保全の持続化</p> <p>①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性畦畔・畦畔除草省力化等実施農地の利用状況調査 →耐久性畦畔実施農地のリストアップ ⇒現地調査実施中 ⇒調査結果の取りまとめ(3月) <p>②地区単位での継続協議支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査のフィードバック 	
実施した内容			<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <p>①遊休農地の活用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梨プロジェクト協議(8月) <p>(2)担い手の確保</p> <p>①担い手の現状把握(継続意向等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家間取り調査(8月) ・農家アンケートの実施(11月) 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <p>①人・農地プランの協議・策定(3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒策定については、来年度に持ち越しとなった。 <p>②遊休農地活用への検討協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手確保への検討協議 ⇒農家アンケート及びフィードバックの実施(3月) 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <p>①人・農地プランの策定協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒策定に向けた農家との協議(2月) ⇒プランの策定、実質化(3月) <p>②遊休農地活用の検討協議</p> <p>③担い手確保の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手受入体制の検討 ・企業参入に向けた提案 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)農地利用の促進</p> <p>①人・農地プランの策定協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒策定に向けた農家との協議(2月) ⇒プランの策定、実質化(3月) <p>②遊休農地活用の検討協議</p> <p>③担い手確保の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手受入体制の検討 ・企業参入に向けた提案 		<p>○山ノ内梨園再生に向けた支援</p> <p>(1)遊休農地活用方法の検討</p> <p>①利活用検討準備会の立ち上げ(~5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者との協議 ・関係機関(県、JA等)との協議 <p>②利活用検討会での検討(6月~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場に適した栽培作物の検討 ・振興作物栽培の適否の検討 <p>③市有農用地活用方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空きほ場への入植者公募 	

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
33	観光交流	旭温泉の活性化		△		○		△		△
実施した内容			<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <p>①若手従業員との意見交換会実施(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美肌観光のコンテンツ作成、実施 すっぽん粉末の完成(2月) すっぽん粉末を活用した商品検討(3月) ・近隣施設(美又温泉等)との連携検討(県美肌事業要件変更のため、未実施) <p>②口コミ度アップ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的なコンテンツ情報の発信 旅館組合HPのリニューアル検討(10月) ・評価サイト等への対応についての勉強会実施(コロナのため、未実施) <p>③新型コロナウイルス対策等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステッカー、のぼり旗設置(7月) 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <p>①温泉PRプロジェクトの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR商品の作成支援 ⇒旭温泉すっぽん塩の完成、販売開始(7月) <p>②口コミ度アップ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉組合HPのリニューアル実施 ⇒すっぽん塩PRページの作成(7月) 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <p>①魅力ある温泉地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手従業員との意見交換会の実施(7月) →商品開発(温泉の素)、HPリニューアルの方向性決定 ・地域の特色を活かした滞在プランの造成 ・広島PRセンター等と連携したニーズ調査の実施 ⇒各施設に応じたターゲットの集客協議(2月) <p>②効果的な情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS等活用の勉強会実施 		<p>○旭温泉の活性化</p> <p>(1)集客に向けた取組への支援</p> <p>①新規経営者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅館組合内の連携強化への支援 <p>②情報発信力強化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉総選挙と連動した情報発信 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと学習 	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価
35	農業振興	農業最適化	実施した内容		実施した内容		実施した内容		計画	
			○	○	○	○	○	○	○	○
			<p>○農地を守る仕組みづくり</p> <p>(1)集落営農組織の推進</p> <p>①広域管理組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体制での取組に向けた仕組みづくり ・令和4年度からの新体制開始に向けて協議を実施 <p>②集落毎の人・農地プランの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 ・令和3年度作成に向けて状況把握のため集落巡回を実施 <p>(2)農作業の省力化</p> <p>①センチビードグラスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6.8ヘクタール <p>②ドローン共同防除の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・95.5ヘクタール <p>③除草ロボットの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望調査、作業体制の構築 ・地元団体が導入済(9月) 各集落を巡回し、要望調査及び作業体制の構築に向けて活動を実施 <p>(3)高収益作物の導入検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲と共に水田を守る作物の検討 ・(1)①の中で導入に向けて協議を実施 <p>(4)圃場整備事業との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備実施に伴う管理体制の構築 ・圃場整備推進協議会の設立 ・杵束地区(1月) ・安城地区(2月) <p>(5)青年部会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ・体験交流事業などへの協力 ・草刈研修会を実施(2月) <p>(6)野菜生産者協議会の推進</p> <p>①共同出荷の継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアの開催 ・地元団体との連携による共同出荷の協議を開始 <p>②共同調整体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備が困難なため当面見送り 		<p>○農地を守る仕組みづくり</p> <p>(1)集落営農組織の推進</p> <p>①広域管理組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からの一本化に向けた支援 ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・設立解散の事務手続き ⇒一本化に向けた協議に時間を要し、年度内の合併に至らなかった <p>②集落毎の人・農地プランの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落での話し合い支援(集落巡回) ※対象23集落 ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 ⇒新型コロナの影響で集落の話し合いが出来なかった4集落を除いては、プランを作成した <p>(2)圃場整備事業との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益作物導入品目の絞込み(担い手の経営安定に繋がる品目) ⇒有機野菜の推進等により絞込みを行った <p>(3)農作業の省力化</p> <p>①センチビードグラスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施(6月23日に開催) ⇒他地域への取組拡大が進んだ <p>②ドローン共同防除の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ⇒研修会は実施出来なかったが、他地域への取組拡大の検討が進んだ <p>③除草ロボットの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オベの育成 ・要望調査の実施 ・運用開始(9月) ⇒試行的に運用を開始した <p>(4)捕獲した有害鳥獣の有効活用</p> <p>①全市的な搬入確認受入に向けた試行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入地区・受入時期・受入体制を限定して実施 ⇒モデル集落として実施した。今後、実施内容を他集落へ共有し取組拡大を促す 		<p>○農地を守る仕組みづくり</p> <p>(1)集落営農組織の推進</p> <p>①農事組合法人の合併</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・解散、設立の事務手続き ⇒11月合併予定 11月1日設立登記予定 11月19日(土)設立総会開催 <p>②集落毎の人農地プランの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落での話し合い支援(集落巡回の実施) ・プラン実質化が完了した集落も定期的に巡回 ・管理すべき農地の明確化及び管理体制等の検討 ⇒11月16日より開始(数年後には引退する農家が増える見込み) <p>(2)高収益作物の導入</p> <p>①地域に合った作物の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機作物の検討 ・圃場整備事業との連動 ・先進地視察の実施 ⇒11月9日有機露地野菜の視察実施(ハウス資材高騰により今後は露地の方向へ) ⇒11月29日圃場整備、有機米の視察実施(栽培面積が減少しても、将来管理しやすい圃場とする) <p>(3)農作業の省力化</p> <p>①センチビードグラスの吹付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の作業受託による ・地域間連携による推進 ⇒横山町(約7a)、三隅町井野(約20a)で実施 <p>②ドローンによる共同防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の作業受託による ・地域間連携による推進 ⇒来年度も取組面積増加予定 <p>③除草ロボットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業規模拡大による作業体制の再構築 ・畦畔以外の草刈の検討 ⇒来年度も取組面積増加予定 		<p>○農地を守る仕組みづくり</p> <p>(1)地域営農の推進</p> <p>①集落巡回の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落での話し合いの支援 ・人農地プランから「地域計画」への移行 <p>②弥栄地域での施策検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落巡回での意見を集約 ・やさかむら集落営農組織連携協議会を中心に施策の検討 <p>(2)高収益作物の導入</p> <p>①地域に合った作物の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備事業推進協議会及び地域の担い手で品目の決定 ・楽天農業との連携による試験栽培の実施(プロココリ等) <p>(3)農作業の省力化</p> <p>農家の高齢化・減少に伴う労働力不足</p> <p>①草刈対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (センチビードグラス吹付、草刈ロボット) ・地域間連携による推進(実施場所、オベ) <p>②ドローン防除の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間連携による推進(実施場所、オベ) <p>③作業受託先の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併法人((農)DreamAgri)が受託を検討 ・受託に必要な機械の導入検討 	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【三隅支所防災自治課・産業建設課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
36	産業振興	石州和紙会館の新体制構築		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議 ⇒施設の特徴を考慮し、指名による指定管理とする方針を決定(令和5年4月)		○	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた準備 ⇒6/14庁内審査会にて指摘事項なし。 今後、仮協定に向け協議を進める。 ⇒12月定例会議へ指定議案を提出予定 ⇒仮協定を締結。12月定例会議に議案提出。 ⇒12月定例会議において可決。令和5年4月1日から指定管理開始。		○			
		楮の生産量増加	○	△	○楮栽培の産業化の調査・検討 (1)新規楮栽培者の確保 ・新規栽培者3名(栽培面積30a)を確保 (2)楮栽培、加工等の技術研修実施 ・楮収穫・出荷作業研修会実施(11月) ・楮植栽研修会実施(3月)	△	○	○楮栽培の産業化の調査・検討 (1)新規楮栽培者の確保 ・新規栽培者1名(栽培面積14a)を確保 (2)楮栽培、加工等の技術研修実施 ・楮収穫・出荷作業研修会実施(11月) ・楮植栽研修会実施(3月) ・和紙事業者年間必要量 23,701kgに対し、楮生産量が25,523kgとなった。	○	○		○楮生産の拡大と事業化の検討 (1)生産量確保 (2)加工販売の検討	
		収穫形態の多様化による西条柿の生産性向上	×	×	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施 ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 (2)収穫・合わせ柿体験の検討・実施 ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 (3)各種作業ボランティアの実施 ・摘蕾ボランティア(5月) ⇒新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・摘果ボランティア(7月) ・収穫ボランティア(10~11月) ⇒生理落果により収穫量が見込めず、ボランティアの協力要請がなかったため中止 JA出荷量(三隅地区分) 38.8t	×	×	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施 ・応募 10組/募集10組 ・柿木選定・摘果作業(7月) ・収穫作業(10月~11月) (2)収穫・合わせ柿体験の検討・実施 ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 (3)各種作業ボランティアの実施 ・摘蕾ボランティア 13名(5月) ・摘果ボランティア(7月) 7月の生理落果により、ボランティア協力要請を見送り ・収穫ボランティア 21名(10~11月) JA出荷量(三隅地区分) 76.0t	○	×		○	○西条柿振興 (1)人・農地プランの作成 (2)栽培サポート体制の見直し ⇒農福連携等(サポステ浜田) ①摘らい・摘果 期間 : 5/13~6/17(土日を除く28日間) ⇒生理落果により収穫量が見込めなかったため中止 人数 : 4名(男性3名、女性1名) 受入農家 : 3軒 ⇒受入農家において、1名雇用 ②収穫作業の実施を計画 期間 : 10/11~11/25(土日祝を除く) 人数 : 1名(男性) 受入農家 : 1軒 ⇒収穫ボランティア 18名(10/9~11/20) 延べ58回 JA出荷量(三隅地区分) 80.8t

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【教育部学校教育課】

No.	項目	目的・目標	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				評価	総合評価		評価	総合評価		評価	総合評価	
37	【令和4年度まで】 高校魅力化コンソーシアム 【令和5年度から】 市内高等学校の魅力化支援について	魅力ある学びにより人づくり及び取組による地域活性化	実施した内容	項目なし	実施した内容 増	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムの運営 ・役員会の開催(5/13、11/12) →令和3年度の事業計画の決定、中間報告 ・人材バンクの設置及び関係者との調整 →11月に設置、12月に募集開始 ・学校と地域の協働事業のコーディネート ・令和4年度以降の事業検討 →実践者からの指導、助言(10回) →令和4年度事業計画の策定 (2)市の独自支援策の検討 ・中学校への訪問(ヒアリング実施)(6/7~6/10) ・市内高等学校への進学状況の分析・課題抽出 →中学生、保護者アンケート実施(9月) →調査結果報告書(11月) ・独自の支援策の検討 →浜田高校との意見交換実施(9/21、12/15) →令和4年度 魅力化コーディネーター1名	○ ○ ○	計画	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアム運営 ・役員会の開催 (年度内に1~2回実施予定) 5/30(第1回)、11/17(第2回) ・地域協働マッチングシステムの促進 (3.31現在 活動した高校生数33人) ・HAMADA教育魅力化パートナーバンクの運営 (3.31現在 登録者:26人) ・教育課程外の高校生の探求活動の促進 ①高校生を募集して探究学習のワークショップを開催 ⇒ 7/23高校生14人参加 8/6 高校生4人参加 活動様子をまとめたレポート発行 ②ふるさと歴史探究プロジェクト 浜田城資料館の高校生学芸員12人を委嘱 (R5.6月~9月の特別展示にて成果発表) ・卒業生ネットワークの構築 (3.31現在 登録者:12人) ・HAMADA教育魅力化フェスタの開催 (R5.2.5 いわみーる体育館) (2)市独自の支援策の検討 ・アンケート調査結果に基づく、高校や中学校との意見交換 ※令和4年度 魅力化コーディネーター1名増員 ・10/12 理数科生徒確保に関する協議(岡田教育長、志波校長外) ・理数科の推薦入試、理数科での学びのメリットを伝えるチラシを作成(魅力化CN)し、中学校と中学生に配布 (11/5 浜高オープンキャンパスや中学校長会)	○ ○ ○	計画	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 -地域活動参画への支援 -活動成果を進学に活かす支援 (2)市内高校への進学増のための支援策の検討 ・各高校の教育活動の内容や成果に関する情報の発信 ・高校や高校生を支援する活動を行う団体との意見交換や協議